

# 公共土木施設災害の状況

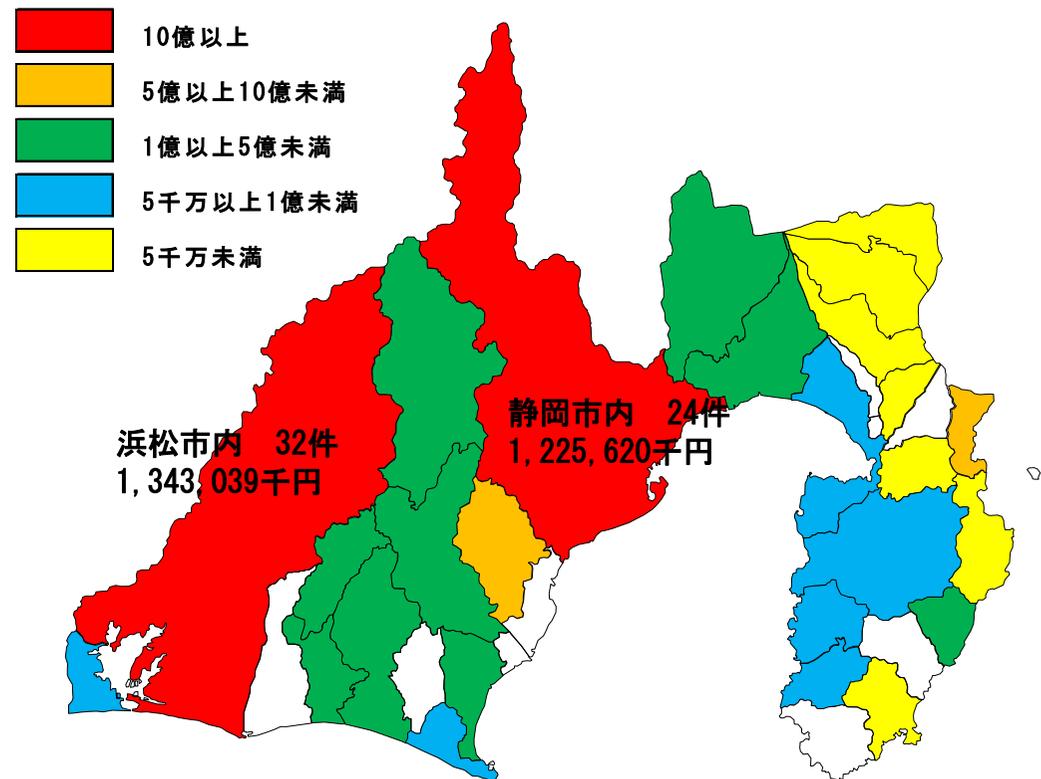
6月28日から29日の豪雨、8月22日から9月3日の豪雨・台風第10号など13回の異常気象により県、政令市及び市町が管理している河川、道路等の公共土木施設が被害を受けた。

被害を受けた公共土木施設は、国土交通省及び財務省による災害査定を実施し26市町において137箇所、約70億円の査定決定を受けた。(港湾除く)

## 【異常気象別 被災状況】

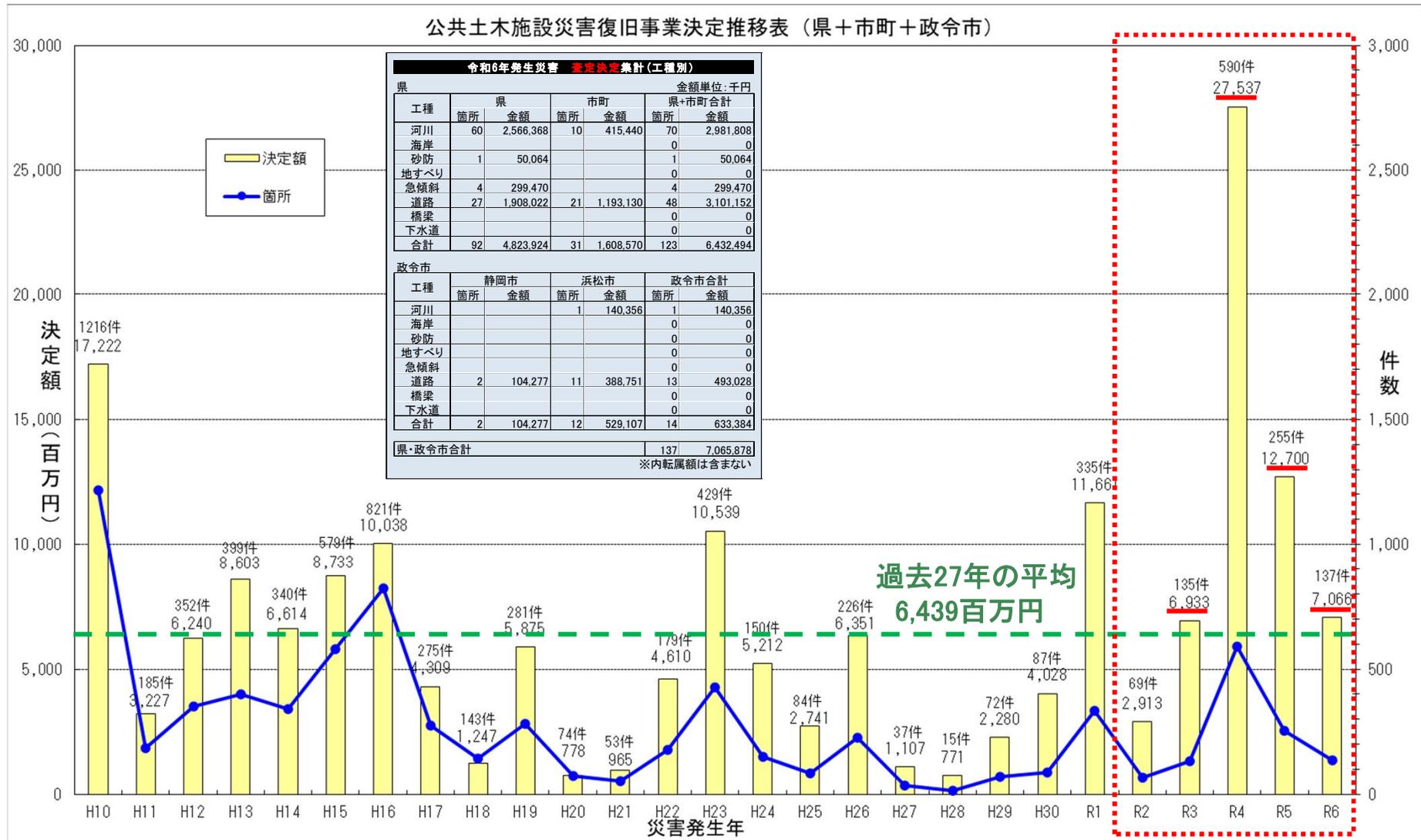
被災月日	被害原因	件数	工種別内訳			
			河川	砂防	急傾斜	道路
R4.7.15~R6.3.8	地すべり	1	1	0	0	0
R6.3.28~R6.3.29	豪雨	2	0	0	0	2
R6.4.8~R6.4.9	豪雨	4	0	0	0	4
R6.5.27~R6.5.28	豪雨	2	0	0	0	2
R6.6.17~R6.6.18	豪雨	17	2	0	0	15
R4.9.23~R6.6.27	地すべり	1	0	0	0	1
R6.6.28~R6.6.29	豪雨	21	16	0	0	5
R6.7.16~R6.7.17	豪雨	2	1	0	0	1
R6.8.23~R6.9.1	豪雨及び台風第10号	70	38	0	4	28
R6.10.3~R6.10.6	豪雨	2	1	0	0	1
R3.8.19~R6.10.10	地すべり	1	0	0	0	1
R6.11.1~R6.11.3	豪雨	13	12	1	0	0
R5.6.3~R6.11.11	地すべり	1	0	0	0	1
合計	13	137	71	1	4	61

## 【各市町の査定決定額（県+市町（政令市含む））の合計額】



# 公共土木施設災害の推移

平成以降最大の被害となった令和4年の災害をはじめ、直近5カ年で期間平均被害額を4回上回っている。



# 主な公共土木施設の災害 (令和6年台風第10号)

県下全域に公共土木施設の被害が確認され県中西部では河川護岸の欠壊が多くみられ、県東部伊豆地域では道路法面崩壊により道路が埋塞する被災が多数発生した。

また、浜松市天竜区渡ヶ島では、急傾斜地崩壊危険区域内での斜面崩壊が発生し急傾斜地崩壊防止施設が被災を受けた。



① (二)宇利山川(浜松市浜名区)



② 渡ヶ島禿石(浜松市天竜区)



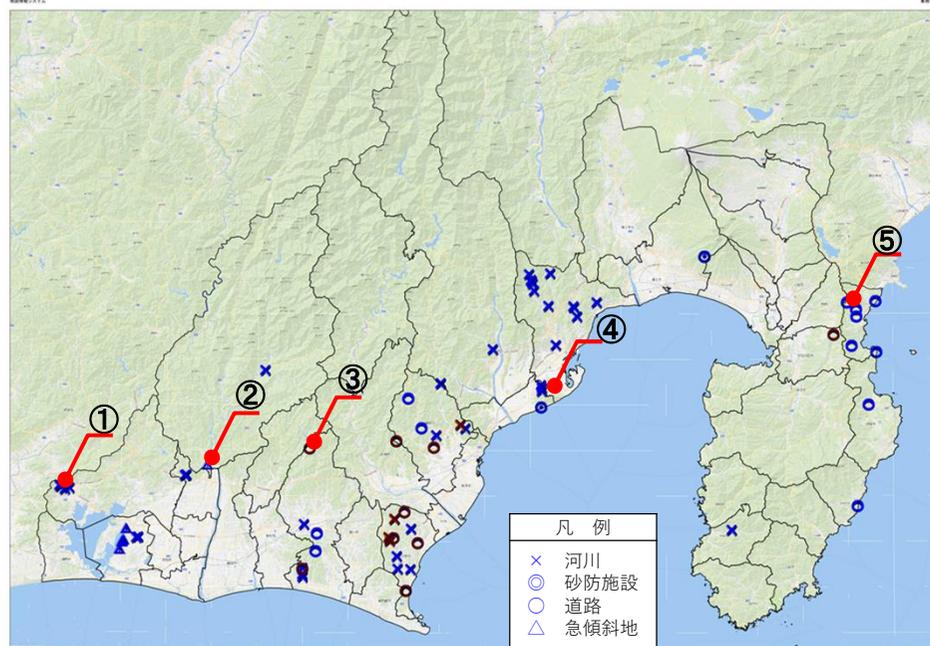
③ (市)明ヶ島線(掛川市上西之谷)



④ (二)殿谷川(静岡市駿河区)



⑤ (主)熱海函南線(熱海市熱海)



公共土木施設被災箇所数 (政令市含む) (箇所)

	県所管	市町所管	合計
河川	35	3	38
急傾斜	4	0	4
道路	8	20	28
合計	47	23	70

※ 港湾災除く